ボーリング柱状図

調　　査　　名　大野海岸早時地区海岸　海岸保全事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	2	6	3	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.9	調査位置	広島県廿日市市大野早時	北　緯	34° 18′ 10.1948″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	平成30年 1月17日～平成29年 1月18日	東　経	132° 17′ 39.8062″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	CDL -1.80m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-1B58	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	3.00m								エンジン	NS-110	ポンプ	東邦BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1	-2.60	0.80	0.80		礫混りシルト質砂	濃暗灰	非常に緩い		有機質なシルト分を含んだ中～粗粒砂。φ5～30mmの角礫・亜角礫と貝殻片(牡蠣)が混じる。		
2									軟岩1。 粗粒のまさ状もしくはφ3～8mmの風化した角礫状。 所々，塊状をなすが，指先で押えるとまさ又は礫片状に崩れる。 礫片はカリ長石と石英の塊が多い。		
3	-4.80	2.20	3.00		風化花崗岩	淡灰褐			石英は砂状で残る。		
4											
5											
6											
7											
8											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
0.45				0/30	
1.10	50/9			50/9	
1.19					
2.10	50/5			50/5	
2.15					
3.00	50/5			50/5	
3.05					

ハンマー自沈

N値: 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
0.15	P-1	㊀	物理	1/17
0.45				
1.10	P-2	㊀	物理	
1.19				
2.10	P-3	㊀		1/18
2.15				
3.00	P-4	㊀		
3.05				